

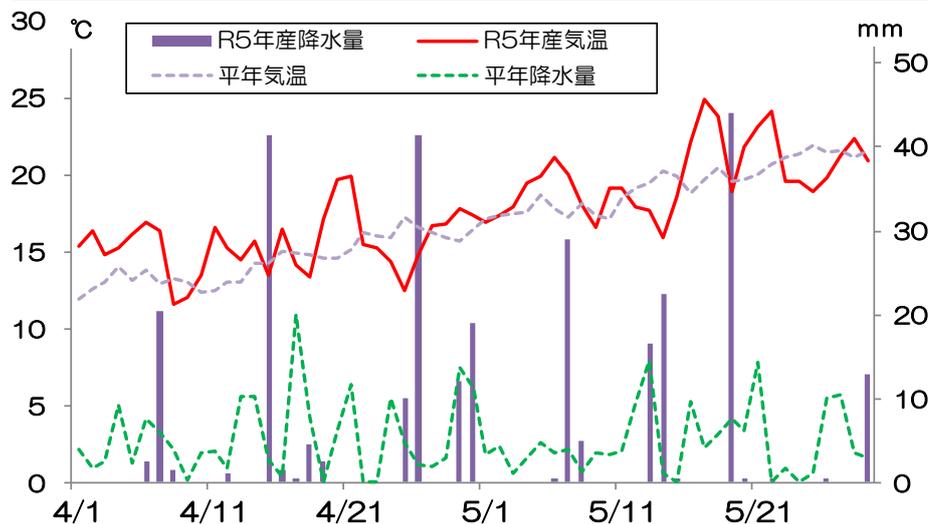
水田たより 6月号

令和5年6月1日

JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

水稲 気象概況(5/29日時点)



・水稲生育期間中の気象は平年と比較し、気温が高く、日照時間が長くなっています。

4/1～5/29の概況

- ◇積算気温 1043.4℃(平年 995.6℃)
- ◇積算降水量 291.0 mm(平年 301.4 mm)
- ◇積算日照時間 434.4 時間(平年 353.6 時間)

水稲 減収被害の要因「いもち病」の対策

いもち病は、稲の病気の中でも、大きく収量・品質を低下させます。曇りや雨の日が多い6月は感染機会が多く対策が必要です。いもち病菌は稲わらで越冬するため毎年発生するほ場では念入りに防除しましょう。

◇いもち病に感染しやすい環境
気温 15～25℃、湿潤状態が 10 時間以上継続

弱い雨が続く。
通気性が悪い。
密植している。



葉いもち 葉が枯れていく

◇感染を防ぐ対策

①置き苗の除去 発生源となるため速やかに除去します。

②本田薬剤防除

・葉いもち

発生前の予防的防除が重要です。

発生予測システム(BLASTAM)で感染に好適な気象条件となった日がわかります！速やかに殺菌剤を散布しましょう。



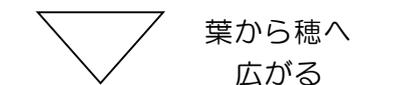
こちら↑

・穂いもち

出穂前の菌密度減少と出穂後の穂への侵入防止のため、穂ばらみ期と穂揃い期が防除適期です。

※飼料用米(粳で供与)は出穂以降使える薬剤に限られます。

必ず成分を確認してから使用しましょう。



穂いもち 白穂・不稔発生

収量減少に直結

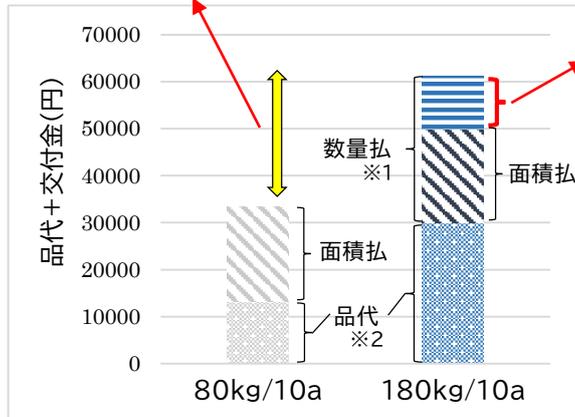
・薬剤耐性菌の発生を防ぐため QoI 剤の使用は最大年 1 回まで
(成分名：アゾキシストロピン、メトミノストロピン、オリサストロピン)

大豆

大豆の価格と交付金について

大豆の収入には生産物自体の価格による収入(品代)に加えて、「**畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)**」による収入があります。さらに直接支払交付金には**面積払と数量払**の2種類があります。面積払は収穫前に支払われるもので、数量払は単収に応じて追加で支払われるものです。以下のように、単収によって得られる交付金に差があります。

約28000円の差



収穫後に 11080 円/10a
(31080 円/10a[数量払] - 20000 円/10a[面積払])が追加で得られる!

10360円×3俵(180kg)

<80kg/10aの場合>

面積払(20000 円/10a)のみ支払われます。

<180kg/10aの場合>

面積払(20000 円/10a)に加えて、収穫後に数量払相当の金額から面積払を差し引いた金額が支払われます。

※1:令和5年産の1等又は1等相当の大豆(数量払:10360 円/60kg)の場合

※2:大豆価格を10000円/60kgとして計算

○**面積払の支払いは11月頃**に、**数量払の支払いは3月末頃**になることが見込まれます。

○収量によって生産物収入だけでなく、直接支払交付金も増加するため、**単収を増加すること**が収益を上げるために重要です。

大豆

は種に向けての準備

○麦収穫後すみやかにほ場準備をし、は種に備えましょう。なお、「フクユタカ」は蔓化(つるぼけ)しやすいので、早期には種した場合は摘心などの対策をしましょう。

○ほ場準備としては**播種前の排水対策**を徹底することで降雨による苗立不良や生育不良を防ぐことが重要です。また、は種後の病害虫を防ぐために**種子消毒**をすることも大切です。加えて根粒菌が活動しやすくなるように**土壌改良資材**を施用してpHを6.0~6.5に調整しましょう。

◇排水対策の例

- ・明渠と排水口を連結させる
- ・明渠に埋まっている土や繁茂している雑草を取り除く
- ・ほ場を均平にする

※**麦跡明渠の再確認を徹底する!**

◇土壌改良資材の例

- ・苦土石灰: やや遅効性、施用後すぐに作付け可能
- ・消石灰: 即効性、施用後植え付けまで7~10日必要



明渠と排水口が連結されているほ場



友だち
募集中

桑名普及センターのLINE公式アカウントを友だち追加していただくと、毎月あなたのスマホに情報をお届けします!

その他、チャット機能を使ってご質問なども受け付けています

過去の水田たよりは[こちら](#)



桑名普及

検索